

科目名 (英文表記)	ビジネスシミュレーション (Business Simulation)		
科目区分	基礎科目	単位数	2 単位
担当教員名	旗本智之 芝 香 (非常勤講師) 谷 祐児 (非常勤講師) 渡部奈穂 (非常勤講師)	ナンバリング	MBA_C_GM 5211
研究室番号	(籾本) 457	研究室電話番号	(籾本) 27-5347
Eメール・アドレス	(籾本) hatamoto@res.otaru-uc.ac.jp (芝) sibakao@gmail.com (谷) y_tani@asahikawa-med.ac.jp (渡部) naho.watanabe@event-stylez.jp		
授業の内容及び方法： 次頁以降に記載			
授業の目的： ビジネスはいかなるものであれ、多種多様な取引を通じて実行され、取引はすべて会計記録の形で記録され、決算を通じて、1年間の経営成績と決算日における財政状態を資本主に報告し、次年度の経営者の地位を承認してもらわなければならない。ビジネスと外部間の取引は市場を通じて行われるが、材料仕入と製品販売は、特に熾烈な競争市場を通じて行われる。 本授業の目的は、製造業というビジネスの基本的な形態における外部取引と製造活動という内部取引を、戦略MG®というシミュレーションゲームで繰り返し、かつ、会計記録を行い、財務諸表を作成するというビジネスそのものを擬似体験することである。戦略MGの性質上、可能な限りシミュレーションを繰り返すことが肝要であり、本講義では2回のシミュレーションを行う。			
到達目標： 本科目では、あらゆるビジネスに通じるマネジメントの基本的な考え方を理解するとともに、基本科目で学ぶ戦略、組織、マーケティング、会計の知識を活用したビジネスシミュレーションによる戦略的な意思決定を自ら実践し体験することで、以下の到達を目標とする。 ① 実践科目や発展科目の履修に向けた基本科目知識の応用能力を身につけること。 ② 財務諸表を分析し、戦略の立案に活かす基本的なスキルを身につけること。 ③ 新規事業の担当者、ベンチャー企業の創業者、及びこれらの支援者として必要な利益志向による意思決定スキルを身につけること。 ④ 限られた時間や資源の中で、戦略を立案し、実行結果を分析し、さらなる戦略の立案に活かす一連のPDCAサイクルを実践する能力を身につけること。			
使用教材： 教科書は特に指定しないが、資料はその都度配付する。 参考書：西順一郎監修、協和発酵工業株式会社著『人事屋が書いた経理の本—MGから生まれた戦略会計マニュアル』ソーテック社、1978年。 なお、ゲームは、本学所有の戦略MG® (戦略MG研究所) を使用する。			

成績評価の方法：

下記の評価項目を総合して評価する。

- ・ 授業への参加度 20%
- ・ レポート 80%

課題の締切後の提出は評価を0%にする。

評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。

履修上の注意事項：

- ・ 「アカウンティング I」（基本科目）を履修済みのこと。
- ・ 授業方法の性質上、遅刻や欠席は不可といたします。

本科目は文部科学省からの委託事業「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業」における神戸大学・和歌山大学との共同プログラム「地域/社会課題を解決する対話型ビジネス価値共創人材養成のための価値創発から社会実装までの一貫教育プログラム」の適用科目の一つであり、3カテゴリーのうち価値創発科目群に属します。なお、本プログラムを終了するためには3カテゴリーから1科目以上を履修し、合計10単位以上を習得する必要があります。